

奉協
仕力勤誠
勉実

創立53年



秩父地域唯一の商業高校

埼玉県立 皆野高等学校

minano high school

HP アドレス <http://www.minano-h.spec.ed.jp> TEL 0494-62-2076

平成30年も本校への応援 有難うございました。

ミニ門松の作製 13日(木):1年生 14日(金)3年生

もはや本校の恒例行事・本校の「顔」ともいえる「交通安全 ミニ門松」作りが行われました。県道路公社の方と本校職員の指導を受けて、素晴らしい出来栄となりました。12月28日(金)午後1時から、秩父やまなみ街道の売店付近で生徒による配布が予定されています。2回目となる3年生はもちろんのこと、1年生がこの伝統を受け継いでくれることも、とても嬉しく素晴らしいところだと思います。校長室にも飾りました。3年生を代表してC組の山口君が届けてくれました。感謝です。

**グローバル人材講演会** 12月18日(火)

今年は、秩父にある『TAP&SAP』代表 井原 愛子さんの講演会、そして本講演会と、グローバルな視点での講演会が続いています。修学旅行での台湾との交流もあり、「グローバルな視点でローカルな問題を考える」という、これからの地域を担う人材としての大切な考え方を身につけてほしいと考えています。



本講演会は、埼玉県から「持続可能な社会を生きるグローバル人材育成事業」の指定を得て実施しているものです。秩父市ご出身で、化学メーカーにお勤めになり要職を歴任された 新井 邦夫 さん にご講演をしていただきました。新井さんはお仕事の関係もあり、実に80カ国もの国を訪れていらっしゃる方です。また、現在はラオス教育支援協会代表として、ラオスでの学校建設・教育普及に取り組んでいらっしやいます。前半では、「今、世界はどうなっているか？」

「日本の常識・世界の非常識」として、その豊富な経験の中での話から、様々な文化の違いの話をしていただきました。後半では「世界が驚いた日本人の精神・文化」「日本の精神・文化 そのルーツは？」として、東日本大震災後の整然とした態度など、世界から尊敬される日本での出来事や、姿についてのお話し、また、そのルーツとして「中江藤樹」や「明治期に来日したイザベラバードの体験」についてのお話し等をしていただきました。その内容は、本校の校訓である「誠実」につながるお話でした。また、グローバルな生き方とは、海外に行くことだけではなく、地域にいたがらも世界的な視点を持つこと、海外から来日される方とのつながりを大切にするのもまたグローバルな生き方であるということもお話しいただき、生徒にとって大変有意義な講演会となりました。

**台湾 新北市立清水高級中學との交流記念品の紹介**

前号でお伝えした「台湾の学校との交流式典」において、本校からは「折り鶴」をお贈りしました。清水高級中學からは、素敵なガラス製の茶器をいただきました。さすが、お茶の国ですね。ご覧いただく機会が少ないと思いますので、本号に写真を掲載いたします。実際に使うことはなく、記念品として展示の予定です。

**終業式での話** 12月21日(金) 終業式

平成30年も年末となりました。第2学期終業式では次のような内容の話しをします。

『2学期の初めに校訓の「協力」について話をしました。どうですか、よい「協力」はできましたか。』

人は何かを成し遂げるために、協力をする必要があります。協力は、生物としての「ヒト」が獲得した能力で、進化の中でその能力を獲得することができたために、地球上で生き延びています。その一つが、「ことば」。言葉で理解しあい協力することで生き延びてきました。『命はかけがえのないものです。優しい言葉を遣い、お互いを大切にしなければなりません。厳しい冷たい言葉は、必ず自分に返って自分を傷つけるものです。』

来年は、今年以上に「優しい言葉」「相手を思いやり協力する言葉」を遣い、素晴らしい年にしましょう。